



① 国際会議 [開会式／基調講演、本会議、分科会]

【日時】 7月2日（土）～7月4日（月）

【会場】 開会式／基調講演、本会議：東京国立博物館 平成館大講堂
分科会：東京都美術館 アートスタディルーム

≪開会式≫ 7月2日（土）13時～13時30分

- （概要）・主催者挨拶 小池 百合子 東京都知事
- ・来賓挨拶 日比野 克彦 東京藝術大学長
- 逢坂 恵理子 独立行政法人国立美術館理事長・国立新美術館長
- 木村 敬一 選手（東京2020パラリンピック大会 金メダリスト（東京ガス所属） ※欠席
- ・ビデオメッセージ アンドリュー・パーソンズ 国際パラリンピック委員会会長

≪基調講演≫ 7月2日（土）13時30分～15時



ジャスティーン・サイモンズ
（ロンドン市副市長（文化・クリエイティブ産業担当））



大杉 豊
（筑波技術大学障害者高等教育
研究支援センター教授）

手話言語学・ろう者学の専門家



松田 崇弥
（ヘルポニー代表取締役社長）

福祉を起点に新しい文化創造を
目指す福祉実験ユニット代表

≪本会議≫ 7月2日(土)～7月4日(月)

●プレ・セッション 「アジアの文化施設で広がる、社会包摂への取り組み」

- ・稲庭彩和子（独立行政法人国立美術館主任研究員）
- ・リン・チエチー（国立台湾歴史博物館公共サービス・教育担当キュレーター）
- ・アリシア・テン（ナショナル・ギャラリー・シンガポール コミュニティ&鑑賞担当アシスタント・ディレクター）

●セッション1 「芸術文化がもたらす、人々のウェルビーイングとは」

- ・中村佑子（映画監督、作家）
- ・ピーター・ソウ（ART:DIS パフォーミングアーツ・芸術制作責任者）
- ・内田由紀子（京都大学人と社会の未来研究院教授）

●セッション2 「ダイバーシティとの対話：多様な差異の包含・協働と文化関係の可能性」

- ・李琴峰（日中二言語作家、翻訳者）
- ・李晶玉（画家、アーティスト）
- ・岩淵功一（関西学院大学社会学部教授、<多様性との共生>研究センター長）

●セッション3 「インクルーシブ・デザインは、文化をどのようにドライブするか？」

- ・グラハム・プリン（ダンディー大学教授）
- ・緒方壽人（デザインエンジニア、Takram プロジェクトディレクター）
- ・大杉豊（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター教授）

●セッション4 「つながりを生み出す：私たちの文化的生態系」

- ・栗栖良依（アートプロデューサー、認定 NPO 法人スローレーベル理事長）
- ・ニサ（Struggles for Sovereignty: Land, Water, Farming, Food (SFS) ）
- ・ガタリ・スルヤ・クスマ（Struggles for Sovereignty: Land, Water, Farming, Food (SFS) ）
- ・大澤寅雄（（株）ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員、NPO 法人アート NPO リンク理事長）

●セッション5 「テクノロジーとクリエイティビティで切り拓く、社会の課題と人々の価値観」

- ・鈴木メイザ（株式会社オリイ研究所 分身ロボットカフェプロジェクトマネージャー）
- ・【OriHime 登壇（OriHime パイロット）】 さえちゃん・ゆいさん
- ・小西哲哉（プロダクトデザイナー／株式会社 exiii design 代表取締役）
- ・松島倫明（『WIRED』日本版 編集長）

●ラウンドテーブル

- ・稲庭彩和子（独立行政法人国立美術館主任研究員）
- ・マウリーン・ゴー（ART:DIS エグゼクティブ・ディレクター）
- ・ピーター・ソウ（ART:DIS パフォーミングアーツ・芸術制作責任者）
- ・ガタリ・スルヤ・クスマ（Struggles for Sovereignty: Land, Water, Farming, Food (SFS) ）
- ・ニサ（Struggles for Sovereignty: Land, Water, Farming, Food (SFS) ）
- ・リン・チエチー（国立台湾歴史博物館公共サービス・教育担当キュレーター）
- ・【モデレーター】伊藤達矢（東京藝術大学 社会連携センター 特任教授）
- ・【コメンテーター】青柳正規（考古学者／アーツカウンシル東京機構長）

●セッション1 「ミュージアムが健康を作る場に-超高齢社会の中での「社会的処方」」

- ・藤岡勇人(東京都美術館アート・コミュニケーション係学芸員 Creative Ageing ずっとび担当)
- ・チョウ・チュンニ(東京文化財研究所文化遺産国際協力センターアソシエイトフェロー/博物館学(学術博士))
- ・リン・チエチー(国立台湾歴史博物館公共サービス・教育担当キュレーター)
- ・稲庭彩和子(独立行政法人国立美術館本部主任研究員)

●セッション2 「オンラインでつながることは、新しい居場所となるか？」

- ・佐々木遊太(デジタルメディア・アーティスト)
- ・吉水由美子(マーケティングクリエイティブディレクター、消費者のライフスタイルや価値観のリサーチャー)
- ・郷泰典(東京都現代美術館学芸員(教育普及係長))

●セッション3 「地域における多文化共生を考える—文化施設・アーティスト・国際交流協会の視点から—」

- ・平野智子(一般財団法人港区国際交流協会)
- ・高尾戸美(多摩六都科学館特別研究員・多文化共生コーディネーター)
- ・クム・ソニ(アーティスト)
- ・大谷郁(東京都庭園美術館学芸員(教育普及担当))

●セッション4 「テクノロジーが切り拓く、新しい音楽表現方法と楽器演奏の未来—表現のアクセシビリティをめぐって」

- ・新井鷗子(横浜みなとみらいホール館長)
- ・アンドレアス・シアガン(アーティスト、エンジニア)
- ・中西宣人(フェリス女学院大学准教授、株式会社 A-KAK 取締役、楽器デザイナー、サウンドデザイナー)
- ・杉山幸代(東京文化会館事業企画課事業係主任/アートマネジメント、学習環境デザイン)

●セッション5 「情報保障から新たな鑑賞体験のデザインへ」

- ・鈴木みどり(東京国立博物館学芸企画部博物館教育課長/博物館教育)
- ・半田こづえ(明治学院大学非常勤講師/博士(芸術学))
- ・廣川麻子(特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)理事長)
- ・萩原彩子(筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター助教/情報保障、障害学生支援、舞台手話通訳)

② ショーケース [オープニング・パフォーマンス] ★見どころ★

【日時】7月2日(土) 17時～19時

【会場】上野恩賜公園竹の台広場(噴水広場)

※雨天の場合は会場変更の上、3日に一部開催予定



現代芸能「獅子と仁人」



鹿子澤 拳



東京のはら表現部

撮影：中澤佑介

開会式当日に、多様な文化と技術を取り入れた金銀の獅子舞がオープニングを祝います。また、東京2020パラリンピック大会の開会式で、手話を交えたダンスが話題となった鹿子澤拳が、獅子舞と各地域の音楽を交え、パフォーマンスを披露します。

さらに、障害の有無に関わらず、多様な人たちがその個性を生かし、一緒に新しい作品を創造・発表するインクルーシブダンス活動「東京のはら表現部」とクリエイターがコラボレーションし、観客を巻き込んだパフォーマンスを繰り広げます。

③ ショーケース [展覧会] ★見どころ★

【日程】7月3日(日)～7月7日(木) 9時30分～17時30分(入館は17時まで)

【会場】東京都美術館 ロビー階第1展示室



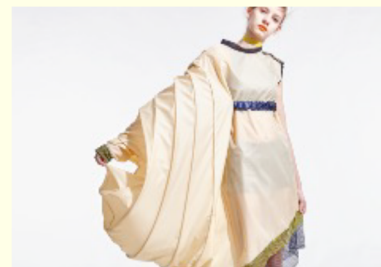
【オリイ研究所】

ロボットを活用し、障害者雇用を促進する社会実装プロジェクトの体験展示



【exiii design】

陸上競技用車椅子「WF01TR」
5つのメダリストである魂のランナー伊藤智也選手との共同開発



【金箱 淳一】「楽器を纏う」

Photo: Kyohei Matsuda
東京2020パラリンピック閉会式の演出に登場した、障害の有無に関わらず楽しめる楽器の数々

分身ロボットにより障害者雇用を生み出すプロジェクトや、インドネシアにおける格差社会の是正に取り組むアートプロジェクト、台湾における社会的処方取り組みなど、芸術文化を通じた社会包摂の今日的な状況を紹介する展示会を開催します。この他にも国内外の文化施設等での活動を紹介する展示を行います。

④ ネットワーキング

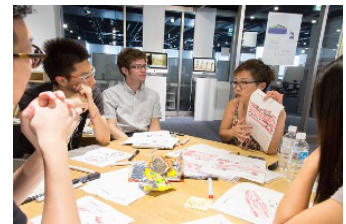
【日程】 7月3日（日）～7月7日（木）

【会場】 東京都美術館 ロビー階第2展示室、スタジオ（交流棟2階）

【ブース出展団体】

<ul style="list-style-type: none">・ ART:DIS (シンガポール)・ 一般社団法人アーツアライブ・ 一般財団法人東京都つながり創生財団・ 株式会社 QD レーザ・ 株式会社ヘラルボニー・ クリエイティブ・アート実行委員会・ 公益財団法人現代人形劇センター・ GK モノ/コト Lab.・ 社会福祉法人トット基金・ 多摩六都科学館・ 特定非営利活動法人アート・コミュニケーション推進機構・ ナショナル・ギャラリー・シンガポール・ パラブラ株式会社、特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク	<ul style="list-style-type: none">・ Be Cre-Ape・ 文化庁 地域文化創生本部・ Holographic・ 「ほどほど実況」チーム・ 東京都(東京バリアフリー2020、サステナブル・リカバリー東京会議、TEAM BEYOND、アーカイブ資産等展示)・ 東京都歴史文化財団「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」・ 東京都江戸東京博物館・ 江戸東京たてもの園・ 東京都現代美術館・ 東京都写真美術館
---	--

参加都市の芸術文化団体や NPO 等がホストとなり、プレゼンテーションやミーティングを実施するネットワーキングプログラムを開催します。国内外の芸術文化団体、医療・社会福祉団体、NPO、クリエイターなどが出会い、実践のノウハウや知見を交換し、次なる協働へと続く場を提供します。



⑤ 短期集中キャンプ「共鳴する身体」(5日間連続ワークショップ)

成果展示：上記③ショーケース（展覧会）にて発表

(※ ワークショップへの申込は締め切っております。)

障害の有無・年齢・国籍等にかかわらず、多様な人々が集い、創作活動を通じた交流と協働を行う連続ワークショップを開催します。

先進的な活動をするクリエイターや研究者を講師に、レクチャーやグループワーク、プロトタイプ開発などを通じ、DIY で楽器制作をするとともに、文化や言語、考え方の異なる人々が協働しながら、芸術文化の新しい楽しみ方を提案します。



撮影：佐藤基

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によって、登壇者やプログラム内容は予告なく変更になる場合があります。